

冬期の給湯器の凍結予防と対応について

例年、冬期に給湯器の凍結に関するお問い合わせが増加します。安心してお使いいただけるように、凍結予防と凍結した場合の、主な対応方法をご案内します。
詳しくは、お使いの機器に付属している取扱説明書の「冬期の凍結による破損防止について」をご確認ください。

■給湯器の電源プラグは抜かない

※エコキュート・電気温水器はブレーカーを OFF にしない。

給湯器は外気温がある程度下がると凍結予防の安全装置が自動的に作動し、機器本体の凍結を予防します。(水抜きした場合は除く)

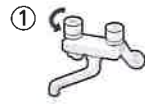


■給水・給湯配管の凍結予防

給湯栓からごく少量の水を出しっぱなしにしておいてください。

●2ハンドル混合水栓

- ①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

- ①湯側いっぱいにする
- ②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

- ①最高温度にする
- ②給湯栓を開ける



■ふろ配管・循環ポンプの凍結予防

追いだき付の給湯器やふろがまの場合はお風呂の水位が循環口より約 5cm 以上になるようにお湯を残してください。



■凍結した場合

給水栓や水道管にタオルを巻いて、その上からゆっくりと 40~50℃のぬるま湯をかけて溶かしてください。
熱湯はかけないでください。



熱湯をかけない
40~50℃の
ぬるま湯を
ゆっくりかける

■積雪した場合

積雪や屋根から落ちた雪により給気部や排気口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。
雪でふさがれるおそれがある場所に設置されている場合は、給排気に影響がないように防雪処置を行ってください。

